

## D&I 推進は変革の原動力

JFE スチールは国内第2位の鉄鋼メーカー。旧川崎製鉄、旧日本鋼管 (NKK) の大手鉄鋼メーカー2社の統合によって2003年に発足したJFEホールディングスの鉄鋼事業会社。従業員数は4万5千人強で、国内外に製造拠点を持つ。

JFE スチールは、D&I 推進を重要な経営課題と位置付け、各種の取り組みを推進中。鉄鋼事業では、カーボンニュートラルといった気候変動問題への対応や、革新的なデジタル技術の進展など事業環境の変化が急。こうした変化に対応するためには大きな変革が必要。多様な価値観や知が融合し、新たな価値創造を加速するD&I 推進が変革の原動力の一つとなり、重要な役割を果たすとの認識のもと、一人ひとりの価値観を尊重し、自分らしいライフスタイルに合わせて働きがいを持って働ける環境を整えている。

女性総合職社員は、約260人。積極的な採用を継続した結果、管理職層も増えつつあり、研究所や製造ライン、営業・管理部門、海外駐在や留学、など、国内外の様々な領域において活躍の場が広がっている。

D&I 推進のためには、全社的な理解が土台にあることが重要であると考え、経営トップがその意義や取り組みに関するメッセージを発信。D&I 推進に向けた課題を経営幹部が徹底的に議論し具体的な活動を決定している。

女性管理職目標については、当初設定した目標 (20年までに管理職数を3倍=14年比) を早期達成し、目標

を引き上げた (25年までに管理職数を5倍=同)。女性総合職に関しては、キャリア形成期における積極的な育成支援の一環として管理職や管理職手前の層とその上司を対象としてキャリアワークショップを開催中。また製鉄所で交替勤務職場に従事する女性社員が全社に約340人おり、深夜を含めたシフト勤務に対応。入社時に会社の保健師などが講師となって健康面などのアドバイスをする講座を実施したり、ライフイベントを迎えた場合には、以降の勤務や将来的なキャリアについて一緒に考える「両立支援面談フロー」を整備し、出産後も引き続き活躍できる職場環境を推進している。

介護と仕事の両立支援として、社内セミナーの開催や、動画サイトを通じて家族と一緒に介護について学べる講座を発信している。また、22年4月からは、「配偶者」の要件を拡大し、同性婚や事実婚のパートナーも社宅制度などの福利厚生が利用できる制度改訂を実施予定。

女性が働きやすい職場づくりも積極的。法定以上の就業制度や、福利厚生制度が充実しており、社員が様々なライフステージで仕事との両立が実現できるようにしている。主要製鉄所4拠点には、事業所内保育園を設置するなど、製造オペレーター職の勤務形態を考慮して、早朝など一般的な保育園では対応が難しい時間帯でも子どもを預かれるようにもしている。

